

せいけん
詩集

第百三十一篇

作：近藤せいけん

「余資なく優暇なき者」ひと

余資なく優暇なき者にひと

学究の門を開く

哲学館 東洋大学

ああ 炎の人 井上 円了えんりょう

諸学の基礎は哲学にあり

生涯 信念に生き

時代の嵐に耐えた

孤高の哲学者 井上 円了

ああ 哲学館 東洋大学

学問に 一身を投げ出した

魂の人 井上 円了

心を残して 名を残さず

旅から旅へ 全国巡講

理想を追い 情熱に生きた

ああ 哲人 井上 円了

遙かなる異国の大地

大連にて死す